

所沢航空発祥記念館
特別展

日本の航空技術100年展

開催期間 (期間を延長しました)
2012.8.4(土)▷2013.3.31(日)



1914 Mitsubishi Regional Jet airplane



1920 Boeing 281



1927 TS-11



1933 Zero



1935 Zero



1941 Zero

零戦来日

零戦展示期間…平成24年12月1日(土)▽平成25年3月31日(日)

世界で唯一オリジナルのエンジンで飛行可能な零戦が所沢でエンジン始動！



Photo: POF's ZERO

製造当時のオリジナル栄21型エンジンで飛行可能な唯一の零戦がいよいよ日本に上陸、所沢航空発祥記念館で展示いたします。当機体は、老朽化のため始動を制限していますが、本イベントでは、特別に貴重なエンジン始動デモンストレーションも行います。今回が当時のエンジン音を生で聞くことができる最後のチャンスとなるかもしれません。

零戦イベントスケジュール (会場：所沢航空発祥記念館)

- 展示期間：平成24年12月1日(土)～平成25年3月31日(日)
- 組立見学会：11月27日(火)、28日(水)＜雨天順延、要事前申込み＞
- 第一回エンジン始動見学会：12月1日(土)、2日(日)＜雨天中止＞
- 第二回エンジン始動見学会：平成25年3月30日(土)、31日(日)＜雨天中止＞
- 解体見学会：平成25年4月1日(月)、2日(火)＜雨天中止、要事前申込み＞

※各見学会の詳細は、決定次第、特別展公式HPでお知らせします。

※エンジン始動見学会は、1日3回実施予定です。

※組立・解体見学会は、特別展公式HPで事前申込みが必要です。(応募者多数の場合は抽選)

※天候等の状況により、見学会は中止となることがあります。当日小雨等の場合は、お問い合わせください。

※12月1日～2日、3月30日～31日は「航空公園まつり」を同時開催の予定です。

日本の航空技術100年展

特別展開催に寄せて

「日本の航空技術の100年と今後」

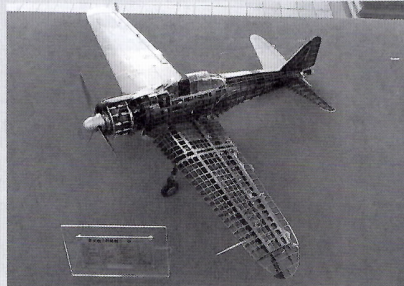
2012年7月

鈴木真二 東京大学大学院教授 航空宇宙工学専攻
(抜粋)

2011(平成23)年、日本での就航が世界初となった最新鋭のボーイング787は、機体の50%以上に炭素繊維複合材料が使用され、機体の35%が日本で製造されるなど日本の技術が活かされています。

自動車の100倍にも及ぶ部品点数を持つ航空機は、高度にシステム化された産業です。設計、製造のみならず、整備、運航、訓練などの幅広いサービスも必要とされます。航空輸送は今後15年で2倍の伸びが予想される成長分野です。既存の航空機メーカー以外に、各国が参入を目指しています。YS-11以来、半世紀ぶりに国産旅客機MRJ(三菱リージョナル・ジェット)の開発が行われ、新世代のビジネスジェット HondaJet の飛行試験が進んでいる背景がそこにあります。日本が築き上げてきた高度な「ものづくり」力と、経済力を結集することで、航空機産業を将来日本の製造業における牽引役とすることが期待されています。

100年の間に飛行機は驚異的な進歩を遂げましたが、さらなる安全性の向上、環境への適合性、利便性の向上が求められます。未来の飛行機はどのような進歩を遂げるのでしょうか。有名な経営学者ピーター・ドラッカーは「未来を知る確実な一つの方法は、未来を自ら創りだすことだ」と述べています。科学者技術者は確実に未来を創ることが出来るのです。1926(大正15)年に液体ロケットの打ち上げに成功したロケットの父、ロバート・ゴダードは「昨日の夢は、今日の目標であり、明日には実現となる」と述べました。夢を持つことが未来を創る第一歩なのです。ドラッカーはまた、「未来を知るもう一つの方法は歴史を知ること」ともいっています。過去の技術者科学者の夢がどのように実現したかを知ることが未来を創るうえで役立ちます。「日本の航空技術の100年」を探ることで、次の100年の航空技術を創り出すヒントや夢を見つけてください。



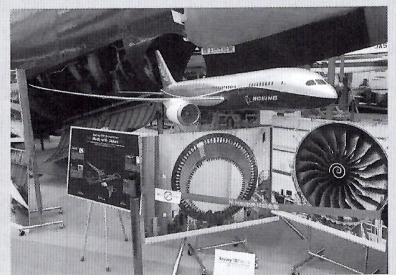
▲零戦(模型)



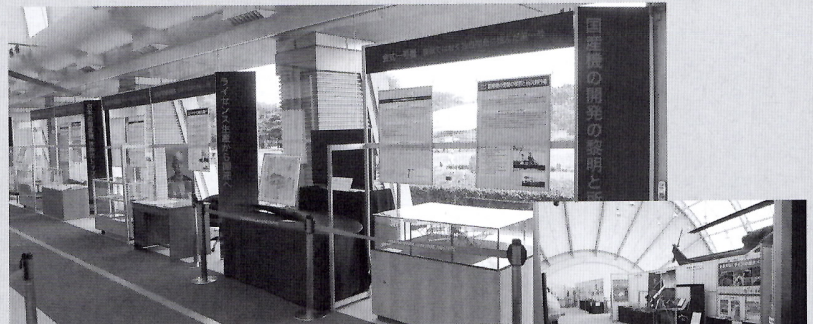
▲YS-11(模型)



▲MRJ(模型)



▲Boeing 787(模型)



▲一世紀に渡る時代の名機の技術をたどる展示ゾーン

所沢市内の元気なもののづくり企業・団体の展示(展示館二階にて)▶



零戦来日!

所沢航空発祥記念館で展示する零戦は、1944年6月にサイパン島で米軍海兵隊によってとらえられた機体です。その後、民間に払い下げられ、1957年にブレンス・オブ・フェームの創設者が引き取り現在に至っています。栄21型エンジンをはじめ当時の勇姿のまま現存する飛行可能な世界で唯一の零戦です。

◀ 当館で展示するブレンス・オブ・フェーム航空博物館(米国)で展示中の零戦52型機

展示だけでなく、零戦の組立・解体見学会、エンジン始動デモンストレーションなどのイベントを開催します。(写真提供:「航空ファンイラストレイテッド」)



所沢航空発祥記念館

埼玉県所沢市並木1-13 〒359-0042(旧所沢航空記念公園内)
電話04-2996-2225 <http://tam-web.jsf.or.jp/>

■開館時間: 9:30~17:00(入館は16:30まで) ■休館日: 月曜日(祝日の場合は翌平日に休館) ■臨時休館日: 12/18 *年末年始休館日: 12/29~1/1

入館料

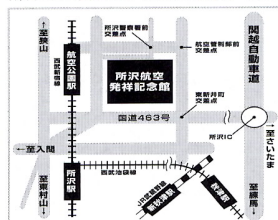
- 展示館 大人 500円(400円) 小・中学生 100円(80円)
- 大型映像館 大人 600円(500円) 小・中学生 250円(200円)
- 共通割引券 大人 800円(650円) 小・中学生 300円(250円)
- * () 内は20名以上の団体料金。
- 65歳以上の高齢者・小学校就学前の児童・障がい者は無料
- 零戦展示会入場券(展示館入館料を含みます)
大人 1,000円(65歳以上は500円) 小・中学生 200円
* エンジン始動見学会は上記入場券で見学できます。
* 小学校就学前の児童・障がい者は無料
- 組立・解体見学会 各入場券 3,000円

前売り券販売所

- チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス
- 11月1日より随時販売開始予定。
- ネット販売詳細は、特別展公式HP
<http://tam-web.jsf.or.jp/spevent/> をご覧ください。
- 組立・解体見学会は、特別展公式HPで事前申込みが必要です。
(応募者多数の場合は抽選)

交通

- 電車 西武新宿線「航空公園駅」下車、東口より徒歩約8分
- 車 所沢ICから国道463号を所沢市街方向へ約6km



- 主催: 公益財団法人日本科学技術振興財団 ●共催: 公益財団法人埼玉県公園緑地協会
- 特別協賛: 株式会社デジタル・アンド・デザイン・ピクチャーズ
- 協賛: びあ株式会社/東レ株式会社/三菱重工業株式会社/株式会社 HORIZON/三國コカ・コーラボリング株式会社/株式会社日展/株式会社 IMAGICA イメージワークス/株式会社シクセス/株式会社トラジャルフレール/株式会社井口一/サンサイクルシステム株式会社/株式会社東京ビッグサイト/株式会社ビクセン/株式会社三ヶ島製作所/株式会社 MIKAMI/株式会社村松フルート製作所
- 展示協力: 川崎重工業株式会社/全日本空輸株式会社/株式会社タミヤ/株式会社ブリヂストン/ボーイングジャパン株式会社/Honda Aircraft Company/三菱航空機株式会社/所沢商工会議所工業部会/中村泰三
- 特別協力: 西武鉄道株式会社
- 協力: 新宿プリンスホテル
- 後援: 埼玉県/所沢市/所沢商工会議所/所沢商店街連合会/所沢市観光協会
- 大型映像制作: 株式会社 NHK エンタープライズ
- 大型映像資料提供: 木村翔/曾根一/吉田正敏/鳥養鶴雄/国立科学博物館/アメリカ国立公文書館/日映アーカイブ/毎日新聞社/潮書房光人社/日本大学理工学部
- 展示・大型映像監修: 鈴木真二(東京大学大学院教授)